

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

京都第二赤十字病院では、国立循環器病研究センター主導の脳卒中・脳神経外科疾患・循環器病関連の治療を受けられた方を対象とした研究に協力をしております。内容については下記のとおりです。この研究についてご質問等がございましたら、最後に記載しております問い合わせ窓口までご連絡ください。

◀情報の利用目的及び利用方法▶

●研究の名称

レセプト等情報を用いた脳卒中・脳神経外科医療疫学調査 (J-ASPECT study)

●研究の目的

今回の研究では、救急搬送を含む入院から退院までの一貫した脳卒中および脳神経外科及び共通のリスクを有する循環器病（急性心筋梗塞、急性心不全、大動脈解離など）治療に関する大規模データベースを構築し、その実用性、妥当性の検証を行うことを目的としています。

●研究の対象

2010 年 4 月 1 日～2025 年 12 月 31 日の間に、J-ASPECT study 参加施設にて脳卒中・脳神経外科疾患・循環器病関連の治療のために入院及び以後通院されている方

●研究の方法

この研究は、日常診療で得られた以下の診療情報を研究データとしてまとめるもので、研究のために、新たな検査などは行いません。

◀利用する試料・情報の項目▶に記載の診療情報を◀研究組織（研究機関名および研究責任者名）▶に記載の研究機関と共有して、共同で研究を進めます。取得された診療情報を業務委託先である健康保険医療情報総合研究所（PRRISM）で集積し、必要な情報を抽出した解析用データセットを作成し、研究責任者および分担研究者に配布いたします。

●研究の期間

研究許可日 ～ 2026 年 3 月 31 日

◀利用する試料・情報の項目▶

●試料：なし

- 情報：生年月（日）あるいは年齢、性別、発症年月日、入院年月日、退院年月日、退院先、自宅郵便番号（研究利用前に事務局において下 4 桁の削除）、診療報酬算定情報（DPC）、入院経路：救急車による搬送、他院よりの紹介、入院前および入院後生活自立度(modified Rankin Scale score, mRS)、入院中死亡の有無、脳卒中・循環器病による入院、初期重症度（JCS、GCS、NIHSS、Hunt & Hess grade、ICH grade、Hunt & Kosnik grade）、入院中の看護必要度、神経学的所見、バイタル

(血圧・脈拍)、検査データ(血球、生化学;腎機能、LDL-Chol、PT-INR、血糖、HbA1c)、搬送から画像撮影までの時間、搬送から組織プラスミノゲン活性化因子(rtPA、血栓溶解療法)投与までの時間、搬送から血管内治療のための穿刺までの時間、血栓回収を行った場合の再開通度(TICI grade)、rt-PA 静注療法または血管内再開通療法を施行した患者での 36 時間以内の症候性頭蓋内出血(NIHSS 4 点以上悪化)の有無、退院 90 日後 modified Rankin Scale(mRS)、画像診断、検査〔MRI、MRA、CT、脳血管造影、頸動脈超音波検査〕、リハビリテーションの有無、脳卒中・脳神経外科疾患・循環器病関連の診療にかかわる治療内容(投薬内容、開頭手術やカテーテル治療など)、退院サマリー・看護サマリー・診療情報提供書・診療記事・看護記録

◀提供を開始する予定日▶

病院長の提供許可日

◀研究組織(研究機関名および研究責任者名)▶

①研究代表者

国立循環器病研究センター 病院長 飯原弘二

②データ解析のため、データベースにアクセスする担当者および所属

有村公一、下川能史 九州大学 脳神経外科

西村中 九州医療センター 脳神経外科

黒木亮太 福岡徳洲会病院 脳神経外科

黒木愛 福岡市立こども病院 脳神経外科

嘉田晃子 国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター

松本省二 藤田医科大学 脳卒中科

竹上未紗 東京大学 医学部・医学系研究科 公衆衛生学分野

賀末泰之 熊本大学病院 脳神経外科

福田仁 高知大学 医学部 脳神経外科

丸山大輔 京都府立医科大学 脳神経外科

松重俊憲 広島市立安佐市民病院 脳神経外科

板谷智也 宮崎大学 生活・基盤看護科学講座 教授

平和也 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻予防看護分野

田中晴佳 神戸市看護大学 健康生活看護学領域 精神看護学分野 准教授

小橋昌司 兵庫県立大学 先端医療工学研究所長

③業務委託

健康保険医療情報総合研究所(PRRISM) 代表取締役社長 山口治紀

④データ提供機関

当院を含む J-ASPECT study 参加施設 ([https://j aspect.jp/sisetsumap.php](https://jaspect.jp/sisetsumap.php))

《試料・情報の管理について責任を有する機関の名称》

京都第二赤十字病院

(代表研究機関：国立循環器病研究センター)

《個人情報の取り扱い》

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

本研究で得られた臨床情報およびそのデータの収集方法を将来、脳卒中や循環器疾患の研究のために二次利用する場合や、研究計画書を変更する場合があります。その場合は、研究倫理審査委員会での審議を経て研究統括管理責任者の許可を受けて実施されます。同意取得の手続きとしては、オプトアウトの機会を設ける場合があります。オプトアウト文書は国立循環器病研究センター公式サイト (<http://www.ncvc.go.jp/>) の『実施中の臨床研究』のページに公開いたします。

《試料・情報の利用の停止（受付方法含む）》

患者さん又はその代理の方が、この研究への参加（情報を利用すること）にご協力いただけない場合は、以下の《問い合わせ先》にご連絡ください。研究にご協力されなくても、診療等において不利益を受けることはありません。ただし、ご連絡いただいた時期によっては、解析が完了している、結果が論文などで公表されているなどの理由であなたのデータを取り除くことができない場合がありますことをご了承ください。

《問い合わせ先》

京都第二赤十字病院 脳神経外科 村上 陳訓

〒602-8026 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355-5

TEL：075-231-5171（代表） FAX：075-256-3451（代表）

研究事務局

担当者：国立循環器病研究センター

脳卒中・循環器病次世代医療研究部 医師 連 乃駿

TEL：06-6170-1070（内線 31243） FAX：06-6170-1897